

全国配備を考える必要がある。ドイツでは、半径50キロの地域ごとに、ヘリの出動体制が整備されており、発災後15分以内に現場に到着することになっている。海からの救命の場合、海上保安庁や海上自衛隊の船舶のみではなく、フェリーボート等の客船の利用も考えられている。

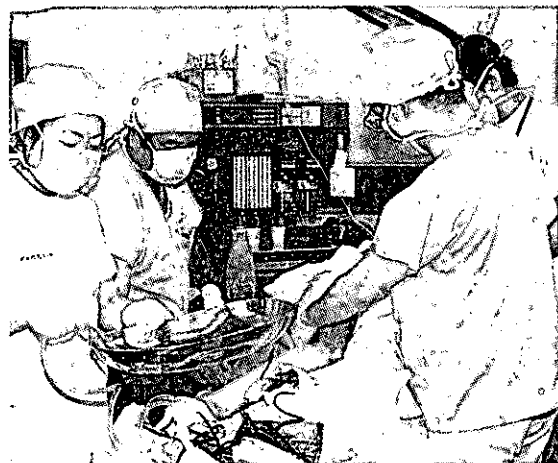
#### 4) 災害に強い病院作りと災害訓練

次に病院の脆弱性を考えなければならない。我が国の災害シミュレーションでは常に病院が無傷という想定である。しかし病院は火事が起りやすく、心電図、脳波などの機器や、ポータブルレントゲンなど、どれも車付きで災害時には凶器にさえなってしまう。その上、電気、水道、ガス、電話などのライフラインが破壊されると病院の機能はなりたたない。

たとえば、米国ダラス市では、市庁舎を中心に放射状に7つの地域に分けて、各地域に中心部の基幹病院、周辺部の副基幹病院を設け、地域内の各病院は自分のところが壊れた場合には、そこで働いていた医師、看護婦はどここの病院に行き働くかなど、地域の医療体制全体の流れが細かく決められている。手術機材もキット化されて、何十セットも蓄えられ、水がなくても手術は可能である。ところが我が国では、各病院1つずつが独立しているため病院間の協力・協調のもとで災害医療にあたるのが難しい。我が国における将来の災害医療体制を考える場合、自治体の枠を超えた災害医療体制を作ることが必要と思われる。この体制下で、各病院は大災害時対応計画マニュアルをつくり、年に最低一回は地震を想定した訓練を行うことである。訓練を伴わない防災計画は意味を持たない。

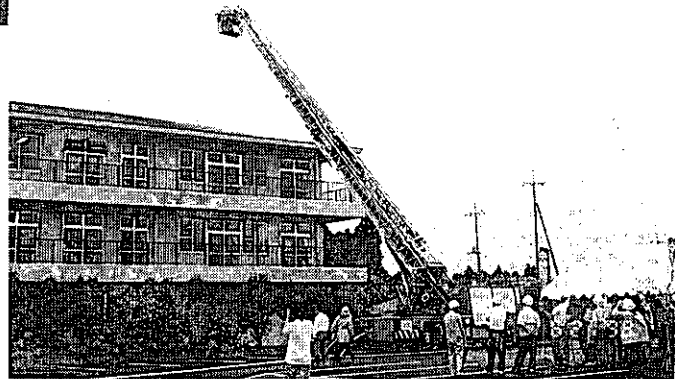
#### 5) 病院間の連携はどう確保するのか

今回の災害では、病院間、消防本部、地方自治体での情報ネットワーク体制が整っていなかったために、それぞれの病院の被災の状況、負傷者の受け入れ状況等を把握することができなかった。このため、量的、質的に対処できない負傷者をどこの病院に運んだらよいかなど様々な混乱をきたした。また、ほとんどの施設が非常用として通常の電話回線を考えていたことも情報の把握ができなかった一つの要因であった。被災地の医療情報は、災害医療チームの派遣や被災地の医療を確保するため早期に必要となる。この医療情報を収集するための手段を確保するため、NTTにも災害特別回線を設置し、緊急時の使用に備えるとともに、病院の通信回線を耐震化し、無線送受信装置を併設する等が必要となる。また情報は、2次医療圏をひとつの地域として、医師会、病院や保健所などが情報を共有化できるシステム作りも必要になる。インターネットなどのコンピューターネットワークが現状では最善の策であろう。



## ②大規模災害病院防災訓練

(茨城・つくばセントラル病院)



日時：平成11年6月27日

主催：医療法人 つくばセントラル病院

場所：茨城県牛久市

協力：全日本病院協会、牛久消防署、牛久警察署、茨城県・牛久市、県南水道、  
龍ヶ崎・牛久市医師会、日本医療救援機構、中柏田行政区

## <訓練想定>

平成11年6月27日（日曜日）13時30分 茨城県南部を震源としたマグニチュード7の地震が発生。茨城県では交通網、通信施設、電気、ガス、水道などに大きな被害を受けた。

特に茨城県南部に相当の被害が発生した模様である。当院もライフラインは全滅に近い状態である。停電直後から非常発電装置が動いているので非常用の電源は確保されている。電話は使用可能である。

病院の被害状況を確認し、診療を継続するか、避難するかを決定しなくてはならない状況にある。殺到する被災患者に対してトリアージを実施する必要がある。

また、病院から離れた救護所でもトリアージが行われており、そこからの患者を受け入れなければならない。

## <訓練を終えて>

感想の第一は総合防災訓練の実施にうってつけの立地、広さ、施設、が揃っていたため、予想以上に大きな成果が得られたこと。

第2は全日病会員が多数参加して鋭い質問と高い関心を寄せてくれたことが今後に大きな期待を抱かせたこと。

第3は企画にかけた1年間の熱意が無駄なく活かされて、スムーズな遂行と十分なデータ採集がなされたこと。

この3点からも、その上、併設された老健施設での対応訓練が行なわれたことも加わって満点に近い評価のできる訓練だったといえる。

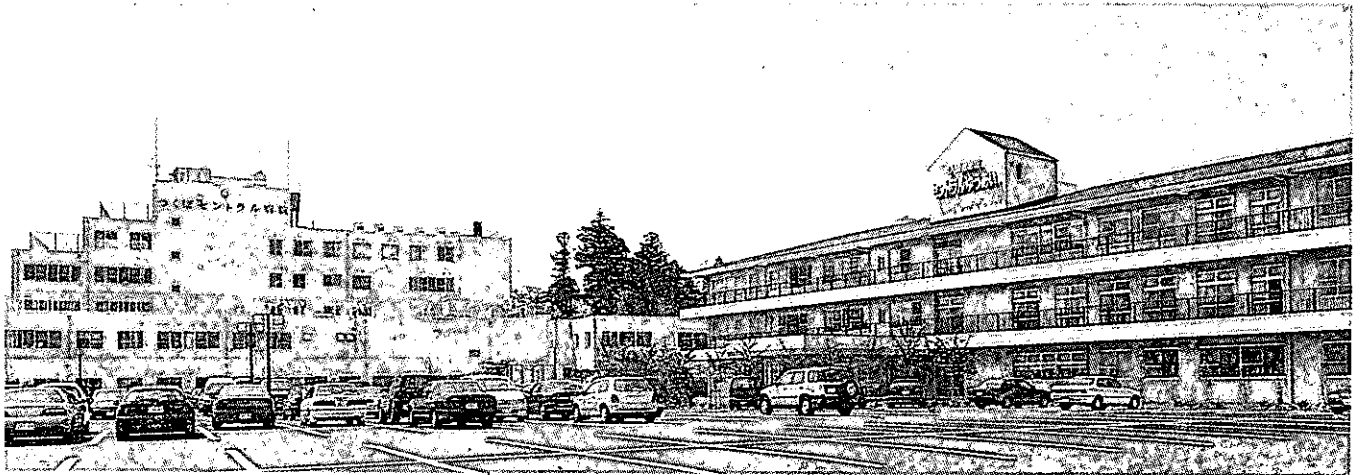


### (全日本病院協会会員で本訓練に参加した方々)

北海道	手稲溪仁会病院	瀧野 昌也	(救急委員、防災連絡員)
福島県	太田記念病院	太田 宏	(救急委員、防災連絡員)
東京都	白鬚橋病院	石原 哲	(救急委員長)
東京都	町谷原病院	中西 泉	(救急委員)
大阪府	総合加納病院	加納 繁照	(救急委員)
広島県	興生総合病院	藤原 恒太郎	(防災連絡委員)
山口県	柴田病院	柴田 眼治	(防災連絡委員)
徳島県	手束病院	手束 昭胤	(副会長)

### (救急車派遣予定病院)

福島県 太田西ノ内病院  
 茨城県 筑波病院、つくば双愛病院  
 東京都 佐々総合病院、白鬚橋病院、松江病院、永生病院



## ※トリアージ訓練の進め方

### 1. 模擬患者の概要

来院患者 名 (軽症 名・中等症 名・重症 名、死亡 名)

### 2. トリアージ患者さんの流れ

来院患者→1)患者さん整列 (タグに氏名、生年月日、住所、TELを記入)

→誘導→2)トリアージ→誘導→3)軽症救護所 (ゆうあい1階デイルーム診療現場へ)

↓  
→誘導→3)中等症救護所 (病院外来診療現場へ)

↓  
→誘導→3)重症救護所 (病院外来診療現場へ)

↓  
→移送→死亡 名

↓  
→4)転送 名、救急車来院



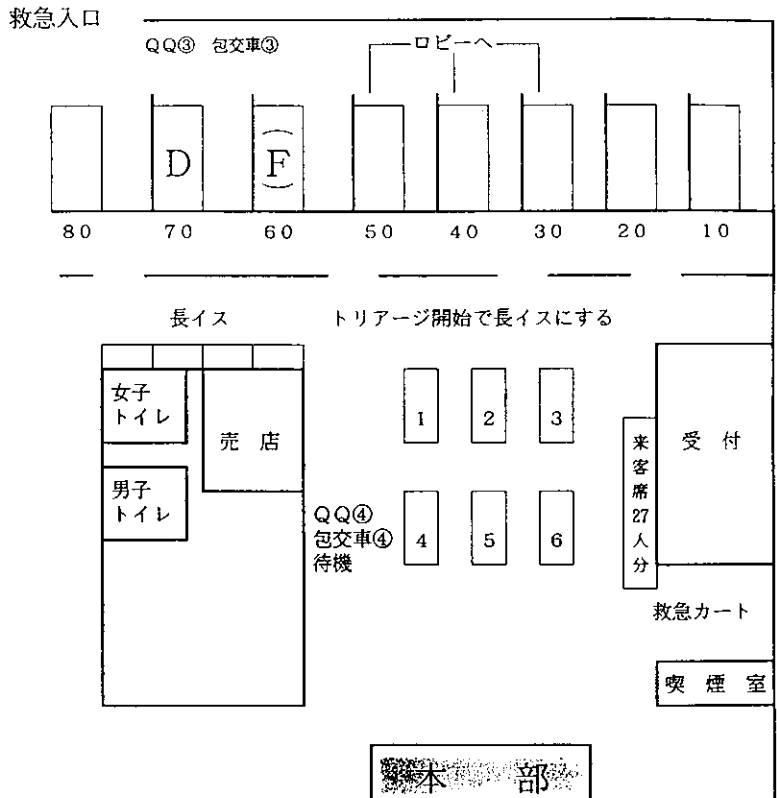
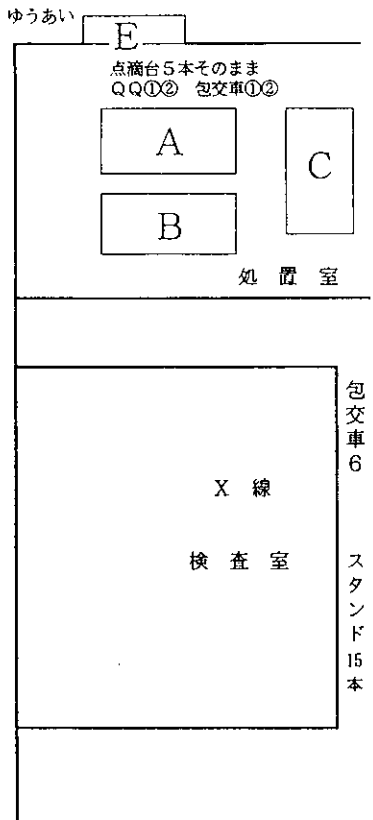
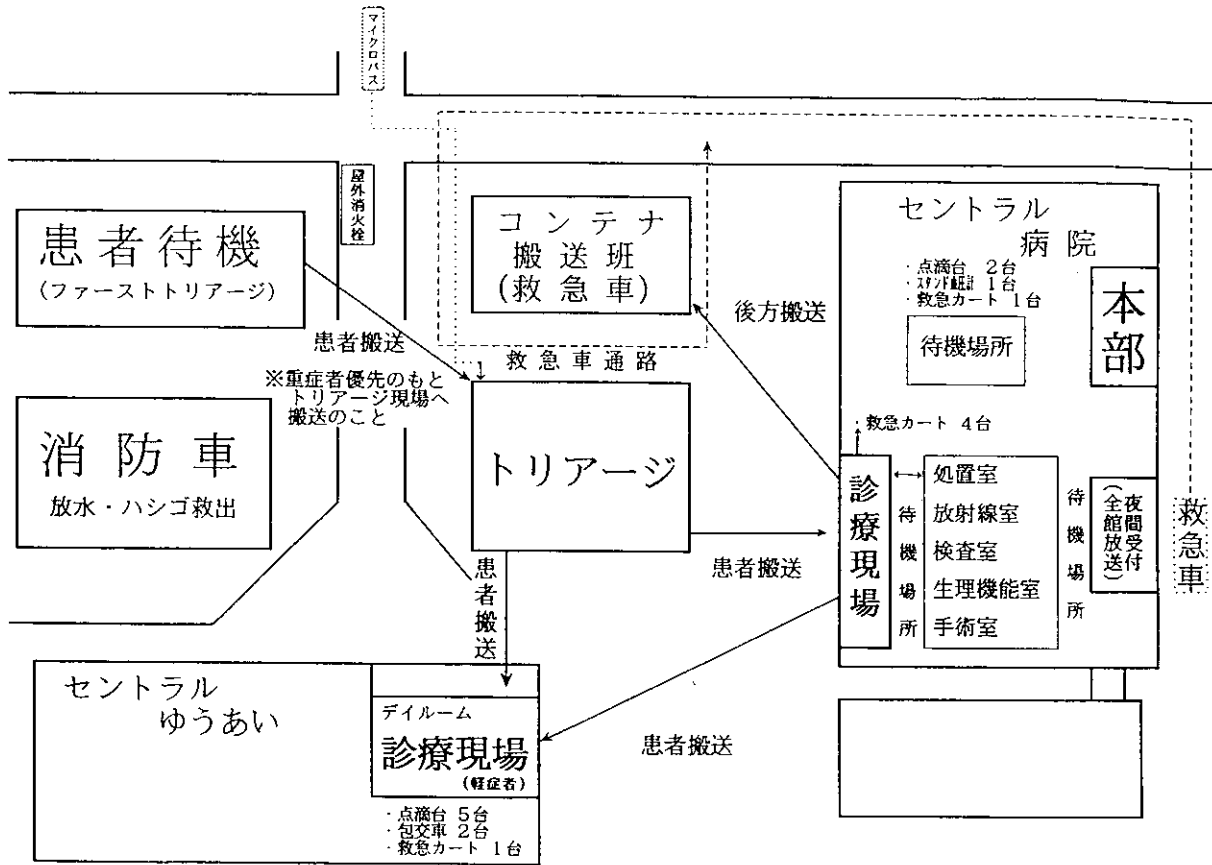
### トリアージの流れの概要説明

(1)トリアージ受付係は模擬患者さんを整列させ、病名、症状などを説明する。

次にトリアージタグに氏名・生年月日・住所・TELを記入後、トリアージセンターまで誘導する。

(2)トリアージ担当ドクターはトリアージのみを専任で行い、1人あたり数秒から数分程度の短時間で終了させる。表面に傷病名・トリアージ区分、裏面に特記事項などを記載し、区分によりカットする。その後、誘導係がタグで確認し、それぞれの救護所に誘導または搬送する。

(3)それぞれの救護班は、誘導・搬送されて来た患者さんの治療をトリアージ病名表の医療内容に添って行う。その後、患者さん同様、所定の場所で待機する。



## <つくばセントラル病院大規模災害防災訓練の全体の流れ

10:00	老健デイルーム	模擬患者演技指導
13:00		防災訓練の案内放送を行う
13:15		院長挨拶
13:17		全日病挨拶
13:30		発災
13:30		防災訓練開始の全館放送
13:31	本部	災害対策本部設置（本部長：医局長 佐藤）→設置マイクを使用して放送する
13:31	各部署	患者、職員の安全を確認し、被害状況報告書を作成し、報告を行う
13:33	本部	本部連絡員を2名指名（久松辰、小川）
13:37		各部署の被害状況報告書で報告を受ける 施設関係状況の報告を受ける 医療機器状況の報告を受ける
13:37		給水車の要請
13:39	本部長 本部	医療継続を決定する→各部に指示を出す 保健所及び警察へ医療継続の連絡をする
13:43		各々トリアージ及び緊急診療準備開始
13:44	老健	火災訓練・火災発生（残留患者あり）
13:45		消防署へ消火活動及び救助の要請
13:47		消防署到着、消火活動及び救助開始
13:48	本部	物品在庫状況の報告を受ける
13:49		給水車到着、給水タンク組立、補給訓練開始
13:50		トリアージ及び緊急診療、準備完了 患者受入訓練・救護開始 消防署より患者収容依頼
13:52	老健	火災鎮火
14:02		残留者救助
14:06	本部	全日病・MERU応援到着
14:15		補給訓練終了
14:20		後方搬送要請
14:30		医療材料、食料品の確保の報告を受ける
14:37		最終報告
14:40		訓練終了

時 間	項 目	担 当	要 領
13:00	訓練前概要説明 (院内患者向け 全館院内放送)	(山口)	「院内の皆様には防火管理者よりお知らせ致します。本日午後1時30分より、大規模災害防災訓練を行います。非常レベル、非常サイレン等の警報が鳴りますが間違いなさぬようご了承下さい。尚、本日の大規模災害防災訓練は、茨城県南部を震源としたマグニチュード7の地震を想定した防災訓練を行います。ご協力下さる職員及びボランティアの皆様は準備をお願い致します。皆様のご協力を宜しくお願い致します。」
13:15			院長挨拶
13:17 ～ 13:23			全日病挨拶2名
13:30	訓練開始 (全館院内放送)	(佐瀬)	「非常放送致します。只今地震が発生しました。患者さんにお知らせ致します。地震による被害状況を調査中です。職員の指示があるまでその場で静かにお待ち下さい。繰り返します。非常放送致します。只今地震が発生しました。患者さんにお知らせ致します。地震による被害状況を調査中です。職員の指示があるまでその場で静かにお待ち下さい。」
13:31	災害対策本部設置	(佐藤)	「地震発生に伴い、1階会計窓口に災害対策本部を設置します。院長不在の為、私医局長の佐藤が本部長を担当します。職員は防災対策マニュアルに従い、冷静に行動をして下さい。各セクションの責任者は速やかに被害状況を本部へ報告して下さい。尚、エレベーターは現在点検していますので絶対に使用しないで下さい。」
13:33	被害状況報告 安全確認報告	(順不同) (植木) (高橋) (椿) (浅野) (越膳)	※看護部→布川看護部長・技術部→阿部技師長・事務部→山口事務部長・ゆうあい→大塚副施設長 (場所：会計窓口に向き合って) 駆け足でやってくる。(チェックリスト持参) 被害状況を報告する。(チェックリスト提出) 「1階医事課です。カルテが散乱しましたが、職員16名は無事です。他も異常ありません。」 「外来です。患者数2名、職員20名全員無事ですが、外来診察室の窓ガラスが割れ、かたづけています。」 「老健1階事務室です。職員6名、ケガ人はなく他も異常ありません。」 「リハビリ室です。職員7名、ケガ人はなく他も異常ありません。」 「老健1階です。通所者10名、職員2名、ケガ人はなく他も異常ありません。デイケア利用者10名屋外へ避難しました。」

13 : 37 施設関係状況報告

- (永山) 「5階事務室、棚が倒れましたが、職員11名にケガはなく、他も異常ありません。」
- (岡本) 「2病棟です。患者数44名、職員15名、ケガ人はなく他も異常ありません。」
- (縮) 「透析室です。職員13名、ケガ人はなく他も異常ありません。」
- (阿部優) 「老健2階です。入所者58名、職員11名、ケガ人はなく他も異常ありません。」
- (青木) 「3病棟です。患者数35名、職員10名、ケガ人はなく他も異常ありません。」
- (根本) 「手術室です。現在手術は行われていません。全室手術可能です。職員7名ケガ人はありません。」
- (大川) 「4病棟です。患者数34名、職員11名、ケガ人はなく他も異常ありません。」
- (大塚) 「各部署の状況を報告致します。患者さん及び職員にケガはなく大きな被害はないもようですが、老健3階からの報告がきていせんので確認をお願い致します。」
- (佐藤) 「了解しました。連絡員2名は老健3階の状況確認を急いで下さい。」
- (久松辰・小川) 「了解しました。」
- (佐瀬) 「建物の被害状況を報告致します。建物には大きな損壊はなさそうです。どこも停電はしていないようです。」
- (小林玉) 「現在、院内医療機器の動作異常はありません。酸素・コンプレッサーも正常に稼働しています。」
- (宮田) 「老健の建物の被害状況を報告致します。建物には大きな損壊はありません。その他、水・電気・ガスに異常はありません。」
- (大川泰) 「報告します。念の為、非常口の開放と1階階段下の障害物を取り除き、避難路を確保して参りました。」
- (柳生) 「揚水ポンプは正常に作動していますが、井戸ポンプからの汲み上げが停止した為、受水槽と高架水槽の残り分しか給水できませんので、給水車の手配をお願いします。尚、下水道に関しては異常ありません。」
- (佐藤) 「了解しました。事務部長は受水槽予備の為、県南水道へ給水車の要請をお願いします。」
- (山口) 「了解しました。」  
TELにて  
「訓練です。こちらはつくばセントラル病院です。先ほどの地震により井戸ポンプからの汲み上げが停止しておりますので、給水車をお願いします。」



13:38	医療継続についての報告	(順不同) (榎崎)	※技師長に報告(場所:会計窓口に向き合って)駆け足でやってくる。(チェックリスト持参) 被害状況を報告する。(チェックリスト提出)
		(白熊)	「生理機能室です。特に大きな損壊はなく機器も正常に稼働しております。」
		(間根山)	「臨床検査部です。壁に数カ所亀裂が入っていますが、機械には特に異常ありません。」
		(三上)	「放射線科です。一般撮影、CT、MRI、血管造影は正常に稼働しています。」
		(阿部隆)	「透析室です。特に大きな損壊はなく、機器も正常に稼働しております。」
		(佐藤)	「医療継続について報告します。特に大きな損壊はなく機器も正常に作動しておりますので医療の継続は可能と思われます。」
		(佐藤)	「了解しました。 事務部長は竜ヶ崎保健所及び警察署に医療継続の連絡をして下さい。」
13:39	医療継続の連絡	(山口)	「了解しました。」 TELにて(保健所・警察72-0014) 「訓練です。こちらはつくばセントラル病院です。只今の地震による大きな被害はないようです。医療の継続は可能です。」
13:40	被害状況報告 院内放送	(佐藤)	「本部より、患者様及び職員に地震情報及び院内の状況についてお知らせします。本日午後1時30分、関東地方を中心にマグニチュード7.2震度6強の地震が発生。震源地は茨城県南部と推定されます。牛久市周辺においても相当の被害が発生しており、当セントラル病院及びセントラルゆうあいにおいてはガス・水道等に大きな被害はありませんので、医療の継続を致します。周辺の被災者が多数、入院されると思われます。入院患者さんの避難の必要はありませんので、職員の指示に従って、各病室で静かにお待ち下さい。職員は災害対策マニュアルに従って冷静に行動をして下さい。尚、エレベーターは点検していますので、絶対に使用しないで下さい。」
13:43	トリアージ準備 開始	(佐藤)	「職員はトリアージ及び緊急診療の準備をして下さい。」
13:44	火災訓練	(吉原)	「老健3階です。315号室より出火。只今初期消火を行っておりますが、オレンジルームにてリハビリ中の利用者1名、介護員1名がとり残されております。尚、介護員が負傷しており、利用者の救出が難しいため至急救助を依頼して下さい。」

13:45	消防署救助要請	(佐藤)	「了解しました。救助を要請します。慌てずに避難をして下さい。尚、患者さんに異常が発生した時は速やかに連絡願います。」
		(吉原)	「了解しました。」
13:46		(佐藤)	「事務部長は消防署へ老健3階315号室火災及びオレンジルーム救助の依頼をして下さい。」
		(山口)	「わかりました。」 TELにて(消防署へ) 「訓練です。こちらは牛久市柏田町1589番地3のつくばセントラル病院です。当院施設の老健施設セントラルゆうあい3階にて315号室より出火しており、只今初期消火を行っておりますが、オレンジルームにてリハビリ中の利用者1名、介護員1名がとり残されております。尚、介護員が負傷しており利用者の救出が不可能と思われるので、至急救助をお願い致します。」
13:47	消防署到着	(久松辰)	「ゆうあい入口付近にて消防車に状況説明及び誘導をする」 「報告します。只今、老健3階315号室火災及び残留者救助の為、消防車が到着し、消火及び救助を開始しています。」
		(佐藤)	「了解しました。引き続き現場の状況把握に努めて下さい。」
		(佐藤)	「患者様及び職員にお知らせします。只今牛久消防署が到着し、老健3階315号室の火災消火活動及び残留者の救助を開始しています。」
13:48	物品在庫状況	(順不同)	※本部長に報告(場所:会計窓口に向き合って)駆け足でやってくる。(チェックリスト持参) 被害状況を報告する。(チェックリスト提出)
		(久松教)	「薬剤部です。薬品等に多少の被害がありましたが、医療行為は可能です。医薬品は通常診療の約3日分あります。」
		(鈴木)	「栄養課です。地震により鍋の油に引火しましたが、すぐに消化器で消火しました。点検の結果ガス漏れはしておりません。食料品は約3日分しか備蓄ありません。」
		(佐藤淳)	「老健栄養課です。地震による被害は特にありません。食料品は約3日分しか備蓄ありません。」
		(間根山)	「放射線科です。レントゲンフィルムは通常診療の約2週間分あります。」
		(根本)	「中央材料室です。滅菌ガーゼ及び滅菌器具は概ね1週間分あります。滅菌器は今のところ正常に稼働しています。」

13:49	給水車到着 補給訓練開始	(佐瀬) 「只今県南水道より給水車が到着し、給水活動を開始しました。」 (佐藤) 「只今、給水車が到着しましたので、補給係は給水作業を開始して下さい。」(給水タンク組立) (補給係は病院裏の給水車より、水の入ったポリタンクをもって病棟へ走る。)
13:50	患者受入訓練	(高橋) 「本部長、トリアージ及び緊急診療、準備完了しました。」 (佐藤) 「了解しました。ただちに所定のトリアージ及び緊急診療を行なって下さい。」 (受付係は来院者を混乱させないように、整列活動を行う。)
13:50	収容依頼	(牛久消防署よりTELが入る。) 「牛久消防署です。患者さん2名収容をお願いします。」 (小川) (トリアージへ連絡する) 「救急隊より患者さん2名収容の依頼がありました。受け入れの体制を整えて下さい。」
13:52	院内放送	(久松辰) 「報告します。只今、牛久消防署により老健3階315号室の火災は鎮火しました。引き続きオレンジルームにとり残された利用者1名、介護員1名の救助作業を開始しています。」 (佐藤) 「了解しました。」 (佐藤) 「患者様及び職員にお知らせします。只今、牛久消防署により老健3階315号室の火災は無事鎮火しました。現在、オレンジルームの残留者の救助活動を開始しています。」
14:02	火災訓練終了	(消防隊) 「牛久消防署です。老健3階315号室の火災は鎮火し、オレンジルーム残留者を、無事救助しました。」
14:03	院内放送	(佐藤) 「ご苦勞様でした。」 「患者様及び職員にお知らせします。只今、牛久消防署により、老健3階315号室の火災は鎮火しました。オレンジルームにとり残されていた、入所者1名、介護員1名も無事救助されました。引き続き入院患者さんをお願い致します。被災者が当院に多数来ておりますので、外来棟が込み合っています。職員の指示に従って各病室で静かに待機するようお願い致します。」
14:05		(久松辰) 「被災者が次々と来ています。医師・看護婦が足りません。応援をお願いします。」
14:06	全日病・MURU到着	(全日病) 「全日病・MERU応援只今到着しました。」 (佐藤) 「ご苦勞様です。多数傷病者が来ています。ただちにトリアージの応援をお願いします。具体的な指示は大塚副施設長が行いますのでその指示に従って下さい。」

14:07		(植木)	「只今町内会のマイクロバスにて傷病者7名を移動して参りました。あわせて 名の被災者になります。重症患者が多数入っておりますので、受け入れ体制が不可能です。入院受入の体制を整えて下さい。」
		(佐藤)	「了解しました。」 「連絡します。只今傷病者7名が到着しました。トリアージ班はトリアージを行い、治療班はすみやかに必要な処置・検査・手術及び入院ができる体制を整えて下さい。」
		(布川)	「空床は全病棟にありまして、トータルで15床程空床あります。」 「トリアージ及び緊急診療の報告をお願いします。」
14:09		(佐藤)	
14:10		(永山)	「患者待機所へは 名、トリアージ班へは 名、診療現場へは 名、計 名が来院しております。このうち後方搬送 名、緊急手術が2名です。」
			「報告します。各病棟への給水は完了しました。」
14:15	補給訓練終了	(京谷)	
		(佐藤)	「ご苦労様でした。」
14:20	後方搬送要請	(根本)	「報告します。現在手術室では、2名の患者の緊急手術を行っておりますが、さらに 名の緊急手術が必要となりました。つきましては、当院での対応能力を越えておりますので、速やかに他の病院への搬送をお願いします。」
		(佐藤)	「了解しました。」 「連絡班は速やかに転院可能な病院を確認するとともに救急車の要請をして下さい。」
14:25		(杉山)	「本部長に報告します。救急車での転送病院は、つくばメディカルセンター病院、筑波大学付属病院に決定しました。又、救急車は概ね14時40分に到着予定です。」
		(佐藤)	「了解しました。」 「医師、看護婦にお知らせします。後方搬送の必要な患者さんの病院が決定し、 時 分頃救急車が到着する予定です。つきましては、速やかに後方搬送の準備を開始して下さい。」
14:30	医療材料、食料品の確保の報告	(鈴木)	「栄養課です。食料品の手配状況を報告します。関連業者より当院に向けて移送中です。概ね15時30分到着予定です。」
		(根本)	「医療材料の手配状況を報告します。関連業者より当院に向けて移送中です。概ね15時20分到着予定です。」

### ③総合病院防災・地下鉄構内負傷者対応訓練

(東京・板橋中央総合病院)



日時：平成11年11月20日  
会場：板橋中央総合病院全館

## <訓練内容>

緊急招集訓練、緊急本部設営訓練、通信訓練、各職場点検・報告、訓練、初期消火訓練、避難訓練、トリアージ訓練、救急治療訓練、搬送訓練、地下鉄利用者の傷病者救出訓練

## ■参加者数

医師	20名	技師等	46名
看護婦	45名	事務職	75名
看護学校	85名	消防署	60名
町会	22名		
		計	353名

## ■トリアージ結果

程度	想定患者	トリアージ訓練結果 (チェック表による)	トリアージ訓練結果 (トリアージタグによる)
死亡	1名	/	2名
重症	9名	9名	8名
中症	16名	14名	14名
軽症	37名	38名	38名
不明		0	1名
計	63名	61名	63名

(チェック表なし・死亡者2名分) (トリアージタグ全員回収・未記入)

## ■防災訓練記録

時間	項目	内容
12:00	全館予告放送	全館予告放送。(12:15 12:35 12:50放送)
13:15	患者役集合	看護学校(重症・中症・小症)学生集合、説明と準備開始。
14:00	訓練開始	災害発生による防災訓練開始を全館放送。 対策本部設置。 対策本部員参集、自衛消防隊集合。 各職場点検開始。
14:03	点検報告開始	各職場毎に点検結果の報告開始。
14:09	初期消火訓練	B館地下1階 栄養課より火災発生の通報。 * 板中自衛消防隊出動命令。
14:10	避難訓練開始	A3Fより建物の一部損壊と、被害発生の報告。 * 119(東京消防庁)、志村町会に出動要請。 地下鉄志村板上駅より志村消防署に出動要請。 志村町会到着・本部待機。
14:11		
14:15		
14:17	医療継続判断	医療継続決定。
14:21		* トリアージセンター、救急治療所設置命令。
14:23	避難訓練開始	* 志村町会・A階3Fへ避難誘導のため出動 * A館3F患者避難開始。
14:25	トリアージ・ 救急治療開始	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           * ●来院傷病者 ●A館傷病者 ●地下鉄            利用傷病者 トリアージ開始            * トリアージ終了後、必要傷病者の救急治療開始            (レントゲン・譜検査・入院・転送)         </div>
14:55		看護学校・軽症者治療訓練終了。
15:18	終了	中村院長挨拶、 講評(区防災課長・志村消防署志村板上主張所所長・志村町会副会長) 三浦副院長閉会挨拶。

平成11年度 トリアージタック訓練結果

1 患者の状況

傷病等別	死	亡	重	症	中	症	軽	症	不	明	台	計
模擬患者	1		9		1	6	3	7	0		6	3
結果	2		8		1	4	3	8	1		6	3

\* 模擬患者63名を設定、トリアージタックは全員回収、ただし1名はまったく記入なし。

2 トリアージタック記入状況

(1) 軽症者 (38名)

医師名	氏名		年齢		性別		住所		電話		実施・月日		実施・時間		傷病名		トリアージ区分		検査等指示			
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし		
医師 A	3	0	3	0	3	0	2	1	1	2	1	2	2	1	3	0	3	0	0	3		
医師 B	2	0	2	0	2	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2		
医師 C	11	0	11	0	11	0	5	6	2	9	8	3	6	5	4	7	1	0	11			
医師 D	5	0	5	0	5	0	4	1	3	2	4	1	4	1	1	4	5	0	0	5		
医師 E	2	0	1	1	1	1	2	1	1	1	2	0	1	1	1	1	2	0	0	2		
医師名なし	14	1	12	3	13	2	8	7	8	7	12	12	5	10	8	7	3	1	2	0	15	
合計	37	1	34	4	35	3	21	17	16	22	19	19	19	19	18	20	2	4	1	4	0	38

\* 医師名の未記入が目立った。  
 \* 患者の個人記録では、住所・電話の未記入が多かった。  
 \* 実施月日・時間・傷病名の記入、未記入が半々である。  
 \* 軽症者のため、救急治療における検査等の指示は0であった。

(2) 中症者 (14名)

医師名	氏名		年齢		性別		住所		電話		実施・月日		実施・時間		傷病名		トリアージ区分		検査等指示		
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	
医師 A	4	0	4	0	4	0	3	1	2	2	0	4	4	0	4	0	4	0	4	0	
医師 B	3	0	3	0	3	0	1	2	1	2	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	
医師 C	2	0	2	0	2	0	1	1	0	2	1	1	0	2	2	0	2	0	2	0	
医師 D	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	
医師 E	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	1	1	1	1	
医師名なし	2	0	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2	0
合計	14	0	13	1	13	1	8	6	7	7	6	8	10	4	14	0	1	3	1	13	1

\* 氏名・年齢・性別はほぼ記入してあるが、住所・電話・実施月日については未記入が多い。

(3) 重症者 (8名)

医師名	氏名		年齢		性別		住所		電話		実施・月日		実施・時間		傷病名		トリアージ区分		検査等指示	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
医師 A	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
医師 B	3	0	2	1	3	0	0	3	0	3	1	2	1	2	2	1	3	0	3	0
医師 C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医師 D	2	1	2	1	3	0	0	3	0	3	2	1	3	0	3	0	3	0	3	0
医師 E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

医師名	氏名		年齢		性別		住所		電話		実施・月日		実施・時間		傷病名		トリアージ区分		検査等指示	
	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
医師名なし	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1
合計	7	1	6	2	8	0	1	7	0	8	3	5	5	3	7	1	7	1	7	1

\* 重症者の場合も、氏名・年齢・性別の記入はほとんどあるが、住所・電話の記入が少ない。  
 \* 実施月日・実施時間の記入はぜひほしい。  
 \* 傷病名・トリアージ区分・検査等の指示は、ほぼ完全に記入されている。





トリアージ・救急治療・所要時間記録 ( 分・ / は未記載の )

傷病程度	重									中									軽											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	平均	24	25	26	27	28	29	30
患者																														
傷病名 または 症状	左大腿部切断	脳挫・ソリ健	軟部・激断	脳挫・断趾	脳挫・断趾	顔面熱傷3度	頭部熱傷	頭部熱傷	頭部熱傷		右下肢火傷	断指・断趾	左前腕刺創	左手火傷3度	外傷性気胸	右前腕切創	火傷3度	両大腿部骨折	左胸部切創	横断骨挫傷		左腕火傷3度		左手熱傷	右足趾断趾	左肩打撲	左手切傷	頭部切傷	左肘擦過傷	左手切傷
医師名	A	B	C	A	B	D	D	B	/		A	C	B	/	D	B	B	E	A	A	E	/		C	C	/	A	E	/	D
トリアージ	到着 ↓ 受付	0	0	1	0	2	8	2	1	/	1.8	2	2	0	2	2	2	0	1	5		5	1	1.9	1	6	/	0	/	5
	受付 ↓ 開始	3	2	3		1	/	3	/	/	2.4	3				1	2	1	1	5	3	2	/	2	5	/	5	/	2	5
	開始 ↓ 終了	5	3	7		2	/	3	/	/	4	10				1	3	1	5	1		1	/	3.6	10	/	/	2	/	15
	到着 ↓ 開始						1	8	1	1	2.8	3	3	3		2	2	1	/	3	5		1	3		1	/	/	/	15
救急治療	開始 ↓ 終了	10	/					0	0			3	2		/	8	/	5	15		12	3	5.3	4	/	/	/	/	1	
	開始 ↓ 終了			13																										2
	開始 ↓ 終了	5	/	8		1	2	2	1	2	9	3	3		/	5	0	/	0	5		12	1	7.5	/	/	/	/	/	

死亡確認

うため不明)

												症																		
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61
左手捻挫	左腹部打撲	/	左手擦過傷	左足首擦過傷	左手打撲	頭部切り傷	右脇腹打撲	頭部外傷	左手切り傷	左手擦過傷	左足首擦過傷	左肩打撲	左手切創	右脇腹打撲	右足首捻挫	/	右肩打撲	左手擦過傷	/	左手捻挫	右肘打撲	左脇腹打撲	/	/	右足首捻挫	左手切傷	/	/	右肘擦過傷	右肩打撲
/	/	/	/	C	D	/	C	C	/	/	C	/	C	/		C	E	B	C	/	/	D	C	D	A	A	/	/	/	/
/	/	/	/	/	/	/	0	/	1	/	2	/	1	1		/	2	2	/	/	/	2	/	1	2	/	/	/	/	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	/	/	2		/	1	3	/	/	/	3	/	0	1	/	/	/	/	
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	/	2	2		/	/	2	/	/	/	2	/	2	0	/	/	/	/	
3	1	1	1	1	/	1	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
/	/	↑	↑	↑	/	↑	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
/	/	↓	↓	↓	/	↓	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
/	/				/							/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

